

# 平成27年度 専用軌道検討委員会を開催



立山砂防工事専用軌道（通称「トロッコ」）は、砂防工事の人員及び資機材の運搬を行っており、近年では、富山県が主催している「立山カルデラ砂防体験学習会」等、年間約千五百人の一般の方々が利用しています。このトロッコは、延長18km、標高差640mで最大勾配1/12の非常に急峻で落石の多い箇所を運行しており、安全対策について専門家の意見を伺うため、平成11年度から当委員会を開催しています。車両運行の現状、落石安全管理の取り組み、万一事故が発生した際の対応、並びに、斜面や施設の点検結果等を委員会で説明し、意見等をいただいています。

今年度は、平成28年2月2日に下記の通り開催し、各委員から、点検方法や評価の考え方等について、意見や質問が出され、今後のトロッコの安全管理に反映させていきたいと考えています。

- 開催日時：平成28年2月2日（火）14時～16時
- 開催場所：富山県農協会館
- 委員メンバー：9名
  - 委員長 竹内 章（富山大学大学院 教授）
  - 委員 太田 岳洋（（公財）鉄道総合技術研究所防災技術研究部長）
  - 寺田 潤（富山地方鉄道（株） 技術部長）
  - 山本 正純（建設業労働災害防止協会富山県支部専務理事）
  - 山本 賢治（弁護士）
  - 吉柳 岳志（富山県 砂防課長）
  - 本田 孝夫（（公財）立山カルデラ砂防博物館 館長）
  - 入江 靖（北陸地方整備局 河川部長）
  - 長井 隆幸（北陸地方整備局 立山砂防事務所長）

※敬称略

- 参加者：23名（委員・職員事務局メンバー等）

立山砂防事務所HPのコンテンツ「立山軌道トロッコ」に「立山砂防のトロッコ」に関する情報が掲載されています。是非、ご覧になって下さい！



委員長 竹内 章 氏  
（富山大学大学院 教授）



長井委員挨拶  
（立山砂防事務所長）



委員会開催状況

### 斜面やトンネルの点検状況



落石補足状況



地中レーダ探査状況